

吉本けんじ 市政報告

No. 53 (令和二年七月)

令和2年6月議会が6月8日から6月24日まで開催され、52回目となる質問をさせて頂きました。

項目は次のとおりです。



1. 里親制度

2. 浸水状況

3. コロナウイルス関連

☆国や岡山市の『児童養護施設と里親制度の今後の方向性』を質問。「一般家庭のような小規模で分散することが望ましい。岡山市の委託率は16・4%と決して高くなく、令和11年を目処に44・3%へ。そのためにはNPOや児童養護施設と協力していかなければならない」と。また、里親手当ては約9万円、独身やパートナー制度宣誓者も登録可能との説明もありました。

☆平成30年7月豪雨を受け対策工事は進んでいません。



笹が瀬川



谷万成地区

今回は横井学区・津島学区の被害状況を調査した結果を質問。「津島学区においては床上下109軒、床上27軒。対策については万成ポンプ内に新たな排水機能の整備をすれば津島桑の木町周辺までカバー出来る。また、座主川から津島桑の木町交差点を南方向へ向かう県道地下に新しい雨水管を入れ、国道53号線地下の既存

管へ繋ぐことも可能だが、排水能力不足を懸念します。現時点では6つあるゲートを効率よく活用することで浸水被害を防ぎたい」と。また、この度大幅改定した浸水内水ハザードマップの説明もあり、区役所・各公民館に置き、要望があれば配布・郵送することも検討します。



☆PCR検査や抗体検査の実施、感染状態を把握するための下水の計測を提案。「陽性患者が多くないことや、陽性確認精度が高くないことなどから今は実施しない」と。ならば岡山県・岡山大学などとワクチン開発をするべき。また昨年のG20保健大臣会合では『地域医療ネットワークの確立』を考えたこともあり、その確立を急ぎ、市民のコロナウイルス感染の恐怖心を少しでも払拭するべきだ、と提案しました。後日、『岡山市は62診療所でPCR検査体制(1日最大600件)を整備』することを発表。市長も記者会見で「市民がインフルエンザなどと同様に身近な診療所で検査できる体制づくりを進める」と方針を出しました。

議会全般

【コロナウイルス経済対策】

コロナウイルス経済対策は5月臨時議会会で第1弾、6月議会会で第2弾を可決。主なものは次の通りです。

- ・特別定額給付金(1人あたり10万円)
- ・子育て世帯への臨時特別給付金(児童手当対象の児童1人あたり1万円)
- ・事業継続支援(売上が20%以上減少している中小企業・小規模事業者へ)

の支援金を支給) ・事業向上補助(事業内容見直しなどを行う中小企業・小規模事業者への補助金を交付) ・事業継続支援(売上が20%以上減少している農林漁業者への支援金を支給) ・キャッシュレス決済ポイント還元事業(スマートフォン決済を利用した岡山市キャッシュレスポイント還元キャンペーンを8月実施予定) ・宿泊促進事業(宿泊と飲食の割引クーポンを発行予定) ・緊急雇用創出事業(就労機会を失った方を会計年度任用職員として採用) ・ひとり親世帯臨時特別給付金(国の事業に市独自で2万円を加算) ・水道基本料金の減免(基本料金1カ月分相当の減免)

『市民のひろば おかやま 7月』に一部掲載

【議員歳費カット】

コロナ禍の中、市民の命と生活を守り、地域経済再生のための財源として活用することを目的に、議員報酬の削減や行政視察を自粛して、合計金額3千万円を目安に議員歳費をカットします。

このことについて、議会最終日の総務委員会委員長報告内で、「我々議会の歳費カットや予算執行できない事業等を精査し、減額補正を組み、市民の命と生活を守り、地域経済再生のための財源として活用してもらいたい」と言いました。

【待機児童対策】

令和2年度4月1日現在の待機児童は259人となり、令和2年4月までに待機児童の解消を目標としていましたが、達成出来ませんでした。無償化の影響等により申込者数の増加や保育士不足などが原因で、保育士の処遇改善策を継続することで、令和4年4月までに待機児童の解消をめざします。

【動物愛護(ペット) 条例関連】

東山斎場において、この度犬・猫以外の哺乳動物(うさぎなど)も火葬することが可能になりました。

した。また、多くの小中学校の避難所でペット(犬・猫)の避難スペースを確保することが決まりました。

この両件は、令和2年度2月議会において、議員発議で改正した「岡山市動物愛護及び管理に関する条例」(6月1日施行)の作成時より担当課と話をしており実現しました。

【日本遺産】

岡山駅運動公園口モニュメントや造山古墳ビジターセンターが完成したこともあり、もっと観光客をよぶことが出来ないか、などが話題となりました。



運動公園口モニュメント



造山古墳ビジターセンター

総務委員会

☆避難所運営及び感染症対策について報告がありました。協定避難所として岡山大学第二体育館や岡山一宮高校など県立高校5校が追加されました。また、公民館へは発電機を配備



岡山大学第二体育館

し、一部の避難所にはテントの配備や液体ミルクを設置。避難場所での過密防止対策として、市民の皆さんへ ①親友・友人宅への避難 ②自宅での垂直避難(2階などにあがる) ③車中泊避難 ④避難者同士のソーシャルディスタンスの確保、を周知します。

☆旧岡山中央南(旧深柢)小学校跡地において、平成24年2月に学校法人川崎学園と事業用定期借地権設定契約を結び、埋葬文化財調査工事及び病院新築工事に伴い発見された地中障害物に關し、行政仲裁センター岡山を利用し7400万円強を、岡山市が負担することで和解されました。

☆岡山市の本庁舎は築50年以上が経過し老朽化が進み、耐震診断の結果、震度6強の地震で倒壊する危険性が高いことが判明。そこでこの度、岡山市新庁舎基本・実施設計業務委託先を決め、①「おかやま」ならではのシンボル性と広場の大きさ ②防災拠点機能の強化 ③将来の変化に柔軟に対応できる多様性、を主な評価ポイントとして決めました。地下2階、地上15階で1つのフロアを広くするイメージ図をもとに考えていきます。新庁舎供用開始は令和8年度予定です。

ホームページ(活動日記)を毎日更新しています。「吉本けんじ」で検索して、ぜひ、ご覧下さい。



お困りの事やご相談などがあればご連絡を下さい。

岡山市議会議員 吉本けんじ

【問い合わせ先】090-1777-4633